

# 新任役員あいさつ

## ■ シルバー人材センターの維持・発展を

監事 伊藤利雄

6月1日の定時総会で選任され、監事に就任させていただくことになりました。とはいえ、何をすべきなのかを十分に理解できておらず、とりあえず前任の木村監事から引き継がせていただいた資料で、定款に記載されている監事の職務や、その職務の遂行にかかわる規約、規程、規則、要綱等を読み始めたところです。今後、先輩監事や理事、事務局の方々の助言を得て、監事の職務を果たしてまいりたいと思います。



シルバー人材センターに入会し、会員として多種多様な仕事への就業、臨時職員として事務局の業務、地域班の班長と地区委員の活動など、多くの経験をさせていただきましたことは、長年精華町に住みながら、勤めていた会社と近隣のごく限られた人とかかわりしかもてなかった私にとって、精華町で生活していくうえで有益なものとなりました。現在も多くの会員の方々と交わって仕事をすることは、退職後始めた野菜づくりとともに、晩年の暮らしの中でたいせつなひとときとなっています。

今後は一会員として、また監事として精華町シルバー人材センターの維持・発展に少しでもかかわれるよう努めてまいります。よろしくお祈りします。

## 「第60号」発行にあたって思うこと

初代理事長 船越 昇



『シルバーせいか第60号』の発刊、おめでとうございます。

創刊号をこの世に出した身としては、ここまで継続発信し続けることができ、会員、広報担当会員、職員等の尽力に対して感謝しています。

この機関誌、創刊号はセンター発足3か月前の平成14年（2002）12月16日に発行しました。入会説明会の案内や事務所の場所などのお知らせ事項に、題字をつけて印刷、配布しました。目的として「センターと会員の情報共有化を図り、円滑な運営に資する」と書きました。

広報誌でのセンター情報の発信は十分だと思いますが、会員が発する情報は乏しく、書くことに不慣れな会員に投稿を促すには、身近な話題にテーマを絞って、関心をもってもらうよう考えてはいかがでしょうか。たとえば「私の健康法」、「ふるさと自慢」…など。

会員が積極的に参加できる、にぎやかな誌面づくりを期待しています。

第7～9号は 縦組み

第10号

第20号

創刊号

第30号

第40号

第50号

平成14年12月発行